

## 移動支援について

茅ヶ崎市社会福祉協議会では、地区担当職員が市内13地区の地域支え合い推進員としても、地区のみなさんと様々な活動に取り組んでいます。

今回は、昨年も報告し継続検討となっている「移動などの支援」にかかる課題について、その後の動きについて共有したいと思います。

## この間の動き

令和5年度（R6.2）に実施した地区社協連絡協議会の「行政との懇談会」以降も、移動・買い物等の支援の課題について、視点の絞り込みなどを検討した。

令和6年8月	地区社協連絡協議会「行政との懇談会」（令和6年度） ・介護保険制度 ヘルパー支援でできること（情報提供） ・地区の取り組みと、行政等が協力できそうなこと（意見交換）
	・「行事に参加したい高齢者の送迎の協力について、市から施設等へ呼びかけできないか」 →生活支援体制整備事業での機会づくりへ ・「買い物支援の情報サイトを高齢者に情報提供したり、使い方を教えたりは、地区で協力できる」 →周知協力へ
令和6年12月	高齢福祉課主催 説明会（市内介護サービス事業所対象 オンライン） 「地域の高齢者を対象とした地域貢献活動への協力について」
	・「地区行事に参加したい高齢者の移動が課題」との地区からの声を伝える。 既に取組みのある松林地区の事例を参考に、事業所の地域貢献として、住民等の福祉活動の支援（高齢者の送迎）について提案。関心、協力の可否検討についてアンケート。 ・参加事業所のうち、6事業所が「協力を検討できる」との回答。
令和6年12月 ～令和7年1月	事業所訪問・ヒアリング（高齢福祉課・市社協） 上記6事業所へ、高齢福祉課・市社協の担当で訪問。
	・協力できそう「事前に調整ができて」「業務に支障のない範囲なら」／移動の他にも…
令和7年2月	地区社協連絡協議会 研修会 「地区で取り組む外出・移動の支援の取組について」
	・地区では改めて、具体の取組みからヒントを学ぶこととし、研修会を開催。 鶴嶺西(地区VC)、湘南(おでかけワゴン)の異なる形の取組報告を各地区へ持ち帰った。 ・ほか、昨年の課題共有を受けて12月の事業所への説明会を実施したこと、その後の事業所ヒアリングの実施状況などを報告。

生活支援体制整備事業を活用し、課題と支援のつながる機会をつくり、ニーズのある地区と意向のある事業所とのマッチングに向け、第1層・第2層が協力しながら準備をしている。